

梅雨も終わり、あっという間に夏到来！ですね。毎日暑くて大変ですが、無理せず涼しく過ごし夏バテ、熱中症を予防しましょう。この数年は夏を満喫できなかったのですが、感染防止対策を取りながら、ちょっとでも夏を楽しみたいです。

「婦人科の腹腔鏡手術について」

沖縄県立北部病院 産婦人科 諸井明仁



産婦人科には、妊娠や分娩を扱う産科と、妊娠以外の病気を扱う婦人科があります。

当院産婦人科は周産期センターとしてハイリスク妊娠や分娩に対応し、女性生殖器外科として婦人科手術を行なっています。今回は婦人科の腹腔鏡手術についてお伝えします。

女性の下腹部には男性にはない子宮や卵巣、卵管があり、それらの臓器はしばしば病気になることがあります。病気の種類には、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症（チョコレート嚢胞など）、卵巣腫瘍、卵管妊娠（異所性妊娠）などがあり、治療のために手術が必要となることもあります。従来は下腹部を 15cm 程大きく切開する開腹手術が主流でしたが、医学の進歩で負担の少ない手術を行えるようになりました。それが「外科手術の革命」と言われる**腹腔鏡手術**です。「腹腔」とは腹部の体内空間を指し、その下方を骨盤と呼びます。**臍に 1cm、下腹部に 5mm の小さい穴を 3ヶ所程度開け、炭酸ガスで腹腔をドーム上に膨らませます。カメラで骨盤内を観察しながら、マジックハンドのような専用の細長い手術器具を小さい穴から入れて手術を行います。腹腔鏡手術は開腹手術に比べてより負担が少なく、多くのメリットがあります。例えば、術後の痛みが軽く、早くベッドから起き上がることができます。体への負担が少ないので入院期間が短い。回復が早く社会復帰が早い。術後の骨盤内の癒着が少ない。傷が小さく目立ちづらいことで美容面に優れる**などが挙げられます。一方でデメリットもあります。開腹手術に比べて難易度が高く、手術時間が長くなってしまふことで、かえって体に負担がかかることもあります。そのため腹腔鏡手術を行うためには習熟が必要です。また、思わぬ出血の際に対処しづらい場合があり、腹腔鏡手術中に対応困難と判断した場合には、従来の開腹術に変更する場合があります。



婦人科腹腔鏡手術を行う際、2名から3名の産婦人科医が担当します。麻酔科医による全身麻酔後に、患者さんは完全に眠った状態で手術が始まります。炭酸ガスで腹腔を膨らま

せた後に、臍からカメラを挿入し、骨盤内を十分に観察します。

カメラで覗いた場所は手術室のモニターに映し出され、細かい血管なども大きな画面で見ることができ、手術室にいるスタッフ全員で手術の様子や進行を共有することができます。下腹部の小さい穴から細長い手術器具を挿入し、子宮や卵巣、卵管の病変部を丁寧に取り除きます。取り除いた臓器に関しては、主に子宮は膣から、卵巣や卵管は臍から回収します。最後に小さい穴を閉じて手術は終了となります。

北部病院産婦人科は、北部地域で婦人科手術が行える唯一の施設であり、2019年5月より同手術を積極的に実施しています。手術件数は2019年度は24件、2020年度は52件、2021年度は45件に上り、卵巣や卵管よりも難易度が高い子宮の手術（子宮摘出術や子宮筋腫核出術）も行なっています。腹腔鏡手術は多くのメリットがありますが、どんな方にも行える手術ではありません。当院における腹腔鏡手術の適応は、臓器によって異なります。子宮であれば握り拳2つ分程度の大きさ（通常の子宮は卵程の大きさです。）であれば手術可能です。一方卵巣や卵管に大きさの適応はありません。また、がんが疑われる場合には腹腔鏡手術を行うことで、病状が進行してしまうことがありますので腹腔鏡手術は適応外となります。また、腹腔鏡手術が「行える」と、「行ふべき」であることは違います。腹腔鏡手術を行なっても長時間となってしまうたり、出血が多くなりそうな場合では逆に患者さんの負担が大きいものとなってしまいます。一番大切なことは患者さんの安全です。当院では安全を第一に考え、丁寧な診察をさせて頂いてから腹腔鏡手術を行った方がよいかどうかを判断します。

実は私自身も当院で腹腔鏡手術を受けた経験があります。術後の痛みは少なく、早くベッドから起き上がり歩くことができ、術後2日目には退院することができました。そして退院したその日から日常に戻ることができました。現在お腹の傷はほとんどわかりません。



最後に、腹腔鏡手術は多くのメリットがあり、当院では患者さんの安全を第一に考えながら婦人科の腹腔鏡手術を行なっています。子宮や卵巣、卵管などの病気を指摘された場合には当院産婦人科医にご相談を頂ければと思います。

「やんばるメディカルゆいまーる！」

FM やんばる 77.6MHz

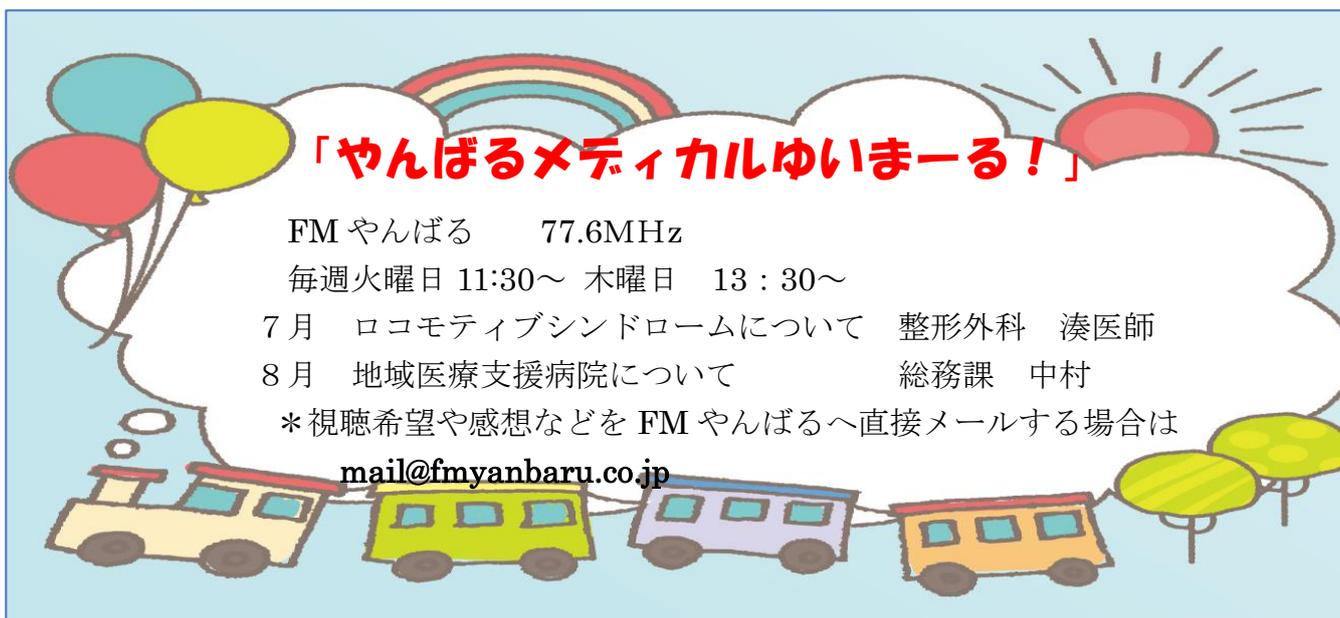
毎週火曜日 11:30～ 木曜日 13:30～

7月 ロコモティブシンドロームについて 整形外科 湊医師

8月 地域医療支援病院について 総務課 中村

*視聴希望や感想などをFM やんばるへ直接メールする場合は

mail@fmyanbaru.co.jp



「大腸がん検診を受けましょう！」

沖縄県立北部病院 消化器内科 星野慎一



今日は“大腸がん”についてお話をします

[沖縄県の現状]

2018年、沖縄県全体の死亡者数は、12,157件（男6,311件、女5,846件）、そのうち、がんによる死亡は、3,034件です。

死亡数が多い順に、男：1位肺がん、**2位大腸がん**、3位胃がん、4位膵がん、5位肝・胆管がん、女：**1位大腸がん**、2位肺がん、3位乳がん、4位膵がん、5位子宮がんでした。

平均寿命の全国順位が低下している沖縄県です。男性は2000年に26位、2010年に30位、女性は2017年に3位となっています。

沖縄県の死因の第一位はがんです。

大腸がんと診断されてから5年後の生存率も全国より約10ポイント低く、大腸がんが発見されたときには、すでに病気が進行している例が多いことが影響していると思われます。

年齢的には40代をこえた頃から大腸がんにかかる人が増えはじめ、50代、60代で急激に増加するので、働き盛りの「早世」に大きく関わっています。

[大腸がんの症状]

早期大腸がんには特徴的な初期症状はありません。多くは進行してから現れます。

こんな症状があれば早めに受診してください。

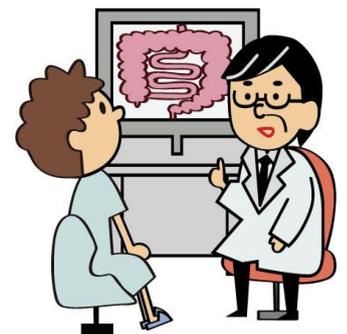
血便、便が細くなる、残便感、腹痛、貧血、腹部膨満感、便秘・下痢、痛みを伴うしこり、急激な体重減少。

[大腸がんの治療]

大腸がんのステージは早期の0期・I期から、進行期のIV期までありますが、**早期の0期やI期では90%以上が治ります。**種々のがんの中では完治しやすいがんといえます。

これが進行してIV期になると20%以下しか治らないといわれています。

早期であれば負担の少ない内視鏡治療で完治することも可能となっています。



[大腸がんの予防]

大腸がんの予防については、**赤身肉・保存肉・アルコール摂取量を少なくすること、禁煙、野菜を多く取り、定期的に運動をするように提唱されています。**食物繊維や発酵食品を積極的に取ることも勧められています。

[大腸がん検診]

予防も大切ですが、早期発見のためには、やはり**検診が重要**となります。



大腸がん検診については、検便による潜血検査が死亡率減少に効果があり、不利益を被る可能性が少ない安全な検査といわれています。

精密検査が必要な場合には大腸内視鏡検査が行われます。

働き盛り世代の健康を脅かす大腸がんですが、検便による早期発見、早期治療が可能であることを知っていただきたいです。

大腸がん検診の受診率は沖縄県は特に低い状態にあります。

さらに便潜血検査に異常があっても、精密検査を受けずに放置し

ている人が多いこともいわれています。

大腸がんの 22.4%は、がん検診や人間ドックなどをきっかけに発見されていることから、受診率を上げることで早期発見につながる可能性は大きいと考えます。

2016年の調査では、全国平均 68.3%ですが、沖縄県は 56.6%となっています。

検査キットで2日連続で採便します。

[大腸内視鏡]

精密検査としては大腸内視鏡検査をうけていただくことになります。

大腸内視鏡けんさでがんが見つかるのは、4~5%で、残りは異常がなかったり、見つかったも良性ポリープであることが殆どです。しかし、見つかったポリープのうち8割が腺腫性ポリープといわれるもので、将来的にがんに進行する可能性があります。つまり、ポリープが見つかった検査の時点で切除することで、その後のがん発症リスクを大幅に下げることができます。

腺腫性ポリープを内視鏡的に摘除することで、大腸がんの罹患率および死亡率が減少することが証明されています。

[まとめ]

- ・40歳になったら検診を受けましょう
- ・精密検査を受けましょう
- ・50歳になったら大腸内視鏡をうけましょう
- ・早期発見・早期治療を目指しましょう



~研修のお知らせ~

ワークショップ形式で研修を予定しています。
是非ご参加ください。

A vertical poster with a dark blue background. On the right side, there is a photograph of a young boy with his hands clasped in prayer, looking down. The text is in white and yellow. At the top right, it says '沖縄県立北部病院虐待対策委員会 2022年度'. The main title is 'ケースから考える 虐待への対応' in large yellow characters. Below that, it says '実際の事例を通して、虐待の予防、虐待への対応などをワークショップ形式で、考えてみたいと思います。' and '職種を問わず、どなたでも参加可能です'. At the bottom, it says '7/14(木) 17:15~18:45 2階 会議室' and '問合せ先 0980(52) 2719 (代) 地域連携室 部長'.